



福島北地区防犯ニュース

防犯ニュースは、福島北警察署のご協力を得て制作しています。

福島北地区防犯協会連合会

福島北警察署

2026年03月05日（木）04面 福島民友新聞掲載

110番、防犯、歌に乗せ

ギターポリス 福島署・大宮さん

福島署地域課自動車警ら係の大宮宏紀巡查部長(40)は「ギターポリス」として活躍している。「警察官は怖いイメージがある。活動を通して市民との距離を少しでも縮めたい」との思いを胸に、人気歌謡曲の替え歌やオリジナルソングを制作。市民に交通事故や詐欺被害の防止を呼びかけている。

気軽に相談できる警察官に



ギターポリスとして活動する大宮巡查部長。「何でも相談できる空気感をつくりたい」と意気込む

大学生の時に父の影響で始めたというギターは趣味で弾いていたが、7年前の南相馬署勤務時に高齢者を対象にした防犯講話がきっかけでギターポリスとして活動を始めた。楽しみながら防犯対策を学んでもらおうと、当時の後輩が歌、大宮さんがギターの演奏を担当した。「こんな言葉は詐欺ですよ」などの歌とともに、「なりすまし詐欺」被害の一例を笑いを交えた寸劇で披露した。「面白かった、またやってよ」と声をかけられ、趣味が生きて良かった」と当時を振り返る。

現在も「110番の日」といった広報イベントなどで活動を続けている。郡山市出身の故西田敏行さんの「もしもピアノが弾けたなら」を反射材の使用を勧める歌詞にアレンジして、頻発する高齢の歩行者が関わる交通事故抑止を呼びかけている。

このほか、子どもたちが歌いながら楽しく「110番」を覚えられるオリジナルソングを披露し、市民から親しまれている。

ギターポリスとして、各交番に防犯講話などの提案も進んで行っているという大宮さん。「身近な存在として気軽に何でも相談できる空気感をつくり、犯罪被害の拡大防止につなげたい」と力強く語った。

全国読売防犯協力会より皆さまへ

25日は読売防犯パトロールデー

全国の読売新聞販売店（YC＝読売センター）でつくる全国読売防犯協力会（清水和之会長）は、毎月25日を全国統一防犯パトロールデーと定め、全国のYCスタッフが配達、集金などの業務をしながら、地域の皆さまの見守り活動に取り組んでいます。「読売センターは、街に光を与え、安心もお届けします」

都道府県警マスコット

山梨県警

ふじ君

2周目です
皆さんおぼえていますか

ほうはん日本から転載

「富士山」をモチーフに明るく、親しみがあり、かつ、力強い警察、をイメージして1988年3月に誕生いたしました。安心を感じさせてくれると好評を得ています

